J613-M3048-03 Rev.P 20060215

Allied Telesis

CentreCOM® AR410 V2 リリースノート

この度は、CentreCOM AR410 V2 をお買いあげいただき誠にありがとうございました。このリリースノートは、取扱説明書（J613-M3048-00 Rev.A）とコマンドリファレンス（J613-M3048-01 Rev.L）の補足や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初によくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ソフトウェアバージョン　2.6.8-04

2　本バージョンで追加された機能

ソフトウェアバージョン 2.6.7 PL0 から 2.6.8-04 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。各機能の詳細については、「CentreCOM AR410 V2 コマンドリファレンス 2.6」（Rev.L）をご覧ください。

2.1　MSS クランプの動作設定

参照「コマンドリファレンス」/「PPP」

PPPoE インターフェース上における MSS クランプ（インターフェースの MTU に応じて、TCP ヘッダー内の Maximum Segment Size オプションの値を書き換える機能）の動作設定が可能になりました。設定は CREATE/SET PPP コマンドに追加された MSSHEADER パラメーターで行います。

3　本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.6.7 PL0 から 2.6.8-04 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

IP

3.1　オプション付き IP パケットのフラグメント化処理時にリブートすることがありましたが、これを修正しました。

BGP-4

3.2　BGP-4 においてレンジが指定されたインターフェースを物理的にダウンさせるとシステムがリブートするという事象を改善しました。

IPsec・ISAKMP

3.3　ISAKMP 脆弱性（JPCERT/CC REPORT 2005-11-24）への対策を行いました。

4　コマンドリファレンスについて

最新の日本語版コマンドリファレンス「CentreCOM AR410 V2 コマンドリファレンス 2.7 (J613-M3048-01 Rev.L)」は弊社 Web サイトに掲載されています。
本リリースノートは、上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちのコマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web サイトで最新の情報をご覧ください。

※パーツナンバー「J613-M3048-01 Rev.L」は、コマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

http://www.allied-telesis.co.jp/